

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——関西支部——

●電気四学会関西支部「平成24年度合同報告会・講演会」

日時 平成24年4月20日(金) 13:00~19:30
会場 中央電気倶楽部5階ホール(大阪市北区堂島浜2-1-25
ドージマ地下センター南詰を右側に上り、右へ約50m、
左側のレンガ造り建物)

合同報告会 13:00~14:00 5階ホール

- (1) 各退任支部長挨拶
- (2) 報告
 - a. 平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画
 - b. 平成23年度決算報告及び平成24年度予算
- (3) 各新支部長の紹介及び挨拶
- (4) 新役員紹介

講演会 14:00~16:00 5階ホール

特別講演

- | | |
|-------------|------|
| ・電気学会 | 新支部長 |
| ・電子情報通信学会 | 新支部長 |
| ・照明学会 | 新支部長 |
| ・映像情報メディア学会 | 新支部長 |

表彰式 16:00~16:30 5階ホール

- ・電気関係学会関西連合大会奨励賞 表彰
- ・電気学会優秀論文発表賞 表彰
- ・電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・照明学会関西支部優秀論文発表賞 表彰
- ・映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞 表彰

引継役員会 16:30~18:00 214号室ほか

懇親会 18:00~19:30 5階ホール

(会費:4,000円 ただし、受賞者は無料)
懇親会参加御希望の方は、下記の連絡先にお申込み下さい。当日、会場においても受け付け致します。

連絡先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

協賛 日本音響学会・電気設備学会各関西支部

——本会・ソサイエティ・

研究専門委員会等主催・共催——

●大川賞受賞記念シンポジウム

このたび、村井 純氏(慶應義塾大学教授)とイングリッド・ドブシー氏(デューク大学教授)の2011年度大川賞(※)受賞を記念して、シンポジウムを開催することとなりました。

本シンポジウムでは、受賞記念特別講演として、両氏の各分野における研究について、これまでの成果と今後の展望を、主に次世代の研究者に向けてお話して頂きます。また、第2部のパネル討論では、両氏の研究に対する姿勢と情熱を若い世代に向けて伝えるとともに、社会にとっての研究の重要性について議論します。

御多忙のことと存じますが、多数の皆様の御参加を賜りたくお願い申し上げます。

講演会・講習会・学術研究集会等

(※)情報・通信分野における研究、技術開発及び事業において顕著な社会的貢献をされた方の功に報い、その功績を表彰するとともに、情報・通信分野の更なる発展と啓発に寄与することを目的として、公益財団法人大川情報通信基金より授与される、国際的な賞
日時:2012年3月16日(金)14:30~17:30(14:00開場)
(シンポジウム終了後、懇親会がございます。)

場所:慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

東京都港区三田2-15-45

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

プログラム(第2部のみ同時通訳付き)

第1部:

開会挨拶

大川賞の趣旨・受賞者の紹介

相磯秀夫(大川賞審査委員長・慶應義塾大学名誉教授)

受賞記念特別講演(1)「インターネットの研究」(仮題)

村井 純(慶應義塾大学教授)

受賞記念特別講演(2)「ウェブレットの研究」(仮題)

イングリッド・ドブシー(デューク大学教授)

第2部:

パネル討論「研究者として生きる一次世代の研究者達へ」

パネリスト:イングリッド・ドブシー、村井 純

モデレータ:交渉中

定員:200名(定数に達し次第締切り)

シンポジウム参加費:無料

懇親会参加費:社会人4,000円、学生2,000円

申込み方法:参加申込みページにて受付

2月6日(月)から下記URLより御案内致します。

<http://www.wide.ad.jp/>

共催:社団法人 電子情報通信学会

公益財団法人 大川情報通信基金(大川財団)

慶應義塾大学

協力:一般社団法人 情報処理学会

社団法人 映像情報メディア学会

一般社団法人 画像電子学会

WIDEプロジェクト

●電子情報通信学会・電気学会・情報処理学会主催

JABEE 審査講習会

JABEE 審査講習会を下記のとおり開催致します。従来と同様にこの講習会を受講することにより審査におけるオブザーバの資格が取得できます。

なお、最後の質疑の中で2012年度に改定される認定基準に関する説明を予定しています。

実施日 平成24年3月23日(金)

場所 岡山大学津島キャンパス自然科学研究科棟第一講義室

http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/image/access.pdf

会費 主催学会会員:10,000円 非会員:15,000円

※当日受付にて現金でお支払い願います。

※会場までの交通費・宿泊費、当日の昼食費は各自御負担下さい。

定員 30名

申込締切 平成24年3月12日(月)

申込方法 下記ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/jabee/kenshukaishousai.html>

<プログラム>

9:10~9:20 受付

9:20~10:10 JABEE 認定制度の考え方と基本方針 田中良明
 10:10~11:10 JABEE 認定基準の解説並びに分野別要件 牧野光則
 11:10~12:00 認定・審査の手順と方法 三木哲也
 (昼休み)
 13:00~13:50 自己点検書 埴 雅典
 13:50~14:40 プログラム点検書及び審査報告書 白井 宏
 (休憩)
 14:50~15:40 審査チームの構成と関連規則, 実地審査の実際 荒川 薫
 15:40~16:30 審査の手引き 牧野光則
 16:30~17:00 質疑
 ※講師等が変更になる場合がございます。あらかじめ御了承下さい。

●フォトニックネットワークシンポジウム 2012——100G 光通信
 技術と国際競争力——

主催:総務省, 通信ソサイエティ
 共催:情報通信研究機構, YRP 研究開発推進協会
 1 波長当たり 100 Gbit/s の高速大容量光伝送システムの実用化が
 間近に迫っています。総務省・通信ソサイエティでは, 100 ギガ
 ビット光通信技術をはじめとする大容量光通信技術の最新動向を
 共有・議論する場として, フォトニックネットワークに関するシ
 ンポジウムを開催します。研究開発を先導してきたトップレベル
 の技術者・マネージャの方々による御講演, 及びパネル討論を予
 定しています。光通信技術に関する最新動向と今後の光通信ビジ
 ネス・産業の方向性を把握する場として, 会員の皆様の積極的な
 御参加をお願い致します。
 日時:3月15日(木) 10:00~17:00
 場所:YRP ホール(横須賀リサーチパーク・YRP センター 1
 番館)
 〒239-0847 横須賀市光の丘3番4号

参加費:無料

プログラム:

1. 基調講演:菊池和朗(東大)
2. 特別講演:宮部博史(NICT)
3. 技術セッション:光技術の最前線(100 ギガビット光通信
 技術)
 山崎悦史(NTT)・福知 清(NEC)・尾中 寛(富士通)・
 水落隆司(三菱電機)・調整中(日立)
4. パネルディスカッション:光技術の展開の行方
 コーディネータ:萩本和男(NTT)
 パネリスト(調整中):尾中 寛(富士通)・杉野 勲(総
 務省)・鈴木扇太(NTT)・日比野善典(NTTエレクト
 ロニクス)・福知 清(NEC)・水落隆司(三菱電機)・
 調整中(日立)

※技術展示も併設実施する予定です。

【参加申込先】こちらのフォームからお申込み下さい。

<https://fs219.xbit.jp/a957/form2/>

【問合せ先】

フォトニックネットワークシンポジウム 2012 事務局
 TEL [03] 3370-2411
 (受付時間 10:00~18:00 土・日祝日を除く)
 FAX [03] 3370-2017
 E-mail: photonic@hip-ltd.co.jp

——本 会 が 協 賛 等 の も の——

(※は参加費割引あり)

第 26 回エレクトロニクス実装学会春季講演大会(※)

期 日 平成 24 年 3 月 7 日(水)~9 日(金)
 会 場 中央大学後楽園キャンパス 理工学部(東京都文京区)
 問合せ TEL [03] 5310-2010
 taikai26@jiep.or.jp http://www.e-jisso.jp

第 5 回情報学シンポジウム「情報学の来る 10 年のデザイン」

期 日 平成 24 年 3 月 9 日(金)
 会 場 日本学術会議講堂(東京都港区)
 問合せ 第 5 回情報学シンポジウム実行委員長
 情報学委員会幹事 尾家祐二 oie@cse.kyutech.ac.jp

市民フォーラム「平時から災害時に耐え得る医療を目指して」
 ——病院前から病院内まで情報通信技術が支援する——

期 日 平成 24 年 3 月 11 日(日)
 会 場 東京商工会議所東商ホール(東京都千代田区)
 問合せ 岐阜大学大学院医学研究科救急・災害分野内
 GEMITS アライアンスパートナーズ
 事務局 丸山・安藤・早矢仕
 TEL [058] 230-6447, FAX [058] 230-6458
 gemap@gemsis.jp

第 12 回制御部門大会(※)

期 日 平成 24 年 3 月 14 日(水)~16 日(金)
 会 場 奈良県文化会館(奈良市)
 問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当
 TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

第 39 回知能システムシンポジウム(※)

期 日 平成 24 年 3 月 15 日(木), 16 日(金)
 会 場 千葉大学けやき会館(千葉市)
 問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当
 TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

第 183 回研究会・第 39 回スピンエレクトロニクス専門研究会
 「磁化のダイナミクスと磁気緩和の物理」(※)

期 日 平成 24 年 3 月 22 日(木)
 会 場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
 問合せ 日本磁気学会事務局 TEL [03] 5281-0106
<http://www.wdc-jp.com/msj/seminar/topical/183.html>

第 18 回第 1 種 ME 技術実力検定試験, 講習会
 講演会

東京会場 期 日 平成 24 年 4 月 8 日(日)
 会 場 帝京平成大学(東京都豊島区)
 大阪会場 期 日 平成 24 年 4 月 15 日(日)
 会 場 新梅田研修センター(大阪市)

検定試験

期 日 平成 24 年 6 月 17 日(日)
 〈札幌会場〉北海道大学(札幌市)
 〈東京会場〉帝京平成大学(東京都豊島区)
 〈大阪会場〉新梅田研修センター(大阪市)

問合せ 同検定試験事務局
 TEL & FAX [03] 3813-5521 jimu@megijutu.jp

第22回電子顕微鏡大学(※)

期日 平成24年4月19日(木), 20日(金)
会場 東京大学本郷キャンパス小柴ホール(東京都文京区)
問合先 電顕大学事務局(東京大学大学院理学系研究科内)
eiko@eps.s.u-tokyo.ac.jp
TEL [03] 5841-4548, FAX [03] 5841-4555

第29回強誘電体応用会議(FMA-29)

期日 平成24年5月23日(水)~26日(土)
会場 コープイン京都(京都市)
問合先 東京工業大学大学院理工学研究科
材料工学専攻内強誘電体応用会議事務局 鶴見敬章
fma@ceram.titech.ac.jp http://fma.ceram.titech.ac.jp

第20回春季信頼性シンポジウム(※)

期日 平成24年6月11日(月)
会場 日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル(東京都渋谷区)
問合先 日本信頼性学会事務局 FAX [03] 5378-9844
reaj@juse.or.jp

第22回環境工学総合シンポジウム2012

期日 平成24年7月4日(水)~6日(金)
会場 東北大学片平キャンパス(仙台市)
問合先 日本機械学会環境工学部門 担当 村山
TEL [03] 5360-3506, FAX [03] 5360-3509
murayama@jsme.or.jp

第31回日本医用画像工学会大会(JAMIT2012)(※)

期日 平成24年8月4日(土), 5日(日)
会場 JA北海道厚生連札幌厚生病院(札幌市)
問合先 日本医用画像工学会事務局(クアंटム内)
TEL [03] 5684-1636, FAX [03] 5684-1650
office@jamit.jp http://www.jamit.jp/

平成24年電気学会産業応用部門大会(※)

期日 平成24年8月21日(火)~23日(木)
会場 千葉工業大学津田沼キャンパス(習志野市)
問合先 電気学会事業サービス課 担当 奈良
TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704
nara@iee.or.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

2012年国際固体素子・材料コンファレンス

期日 2012年9月24日(月)~27日(木)
会場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 同コンファレンス事務局(インターグループ内)
TEL [03] 5549-6909, FAX [03] 5549-3201
ssdm_secretariat@intergroup.co.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第12回(平成24年度)材料科学技術振興財団
山崎貞一賞——

授賞論文: 論文の発表, 特許の取得, 方法・技術の開発等を通じて, 実用化につながる優れた創造的業績を上げている人。
授賞対象分野: (1) 材料, (2) 半導体及び半導体装置, (3) 計測評価, (4) バイオサイエンス・バイオテクノロジー
応募締切: 平成24年4月30日(月) 必着
件数及び賞金: 各分野それぞれに賞状及び副賞(18金メダル・賞金300万円)

問合先 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局
TEL [03] 3415-2200, FAX [03] 3415-5987
prize@mst.or.jp http://www.mst.or.jp/prize/

——平成24年度地方発明表彰——

本事業の趣旨

本発明表彰は, 各地方における発明の奨励・育成を図り, 科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として, 全国を北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 中国, 四国及び九州の8地方に分け, 各地方において優秀な発明・考案・意匠を完成された方々, 発明等の実施化に尽力された方々, 発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え表彰するものです。

発明, 考案及び意匠の要件

- (1) 発明・考案(次のいずれも具備すること.)
 - ①特許または実用新案登録されているもので, 平成23年12月末時点で権利が存続していること.
 - ②発明, 考案は進歩性に優れ, かつ実施効果が顕著で科学技術の向上及び地域産業の発展に寄与していると認められること.
 - ③新しい技術の発展性を創出していると認められること.
 - ④応募時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること.
- (2) 意匠(次の要件をいずれも具備すること.)
 - ①意匠登録されているもので, 平成24年12月末時点で権利が存続していること.
 - ②意匠は製品化され, 広く一般に利用されて地域産業の発展, 生活文化の向上に大きく寄与していると認められること.
 - ③現状, 機能など構成要素が極めて優れており, 新しい意匠の潮流を形成することが期待されること.
 - ④募集時において係争関係にない, もしくは係争が終了していること.

応募者等の資格

- (1) 応募者は, 当該特許・実用新案・意匠の権利を有すること.
- (2) 発明者・考案者・創作者は, 日本国籍を有するかまたは, 当該発明, 考案及び意匠を日本国内において完成させ, 上部, 本事業の趣旨に適合すると発明協会が認めた者であること.
- (3) 当該発明・考案及び意匠で, 過去に叙勲・国家褒章を受賞または発明協会主催の全国発明表彰あるいは本表彰を受賞していないこと.

締切日 平成24年3月31日(土) 各都道府県支部事務局 必着
問合先 発明協会 発明奨励グループ 発明奨励チーム
TEL [03] 3502-5431, FAX [03] 3502-3485
shourei@jiii.or.jp